

# 社会資本総合整備計画 事後評価書

## 前橋市市街地整備計画

平成28年3月

群馬県前橋市

社会資本総合整備計画書（市街地整備） 事後評価書

平成28年3月30日

計画の名称	1 前橋市市街地整備計画																						
計画の期間	平成22年度～平成26年度（5年間）		交付対象	群馬県前橋市																			
計画の目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・群馬県前橋市は、日本百名山の一つである赤城山や坂東太郎の異名をもつ利根川、広瀬川等の豊かな自然環境と共存したまちづくりが進められ、萩原朔太郎や平井晩村をはじめとした多くの文化人等が輩出されてきた。</li> <li>・風土的にも文化芸術が醸成されやすい環境にあり、歴史的にも多くの文化的財産が残されながら、一体的な“まちづくり”として取り組んでこなかった経緯もあり、中心市街地の衰退や地価の下落が続くなどの課題を抱えている。</li> <li>・そこで、都市基盤や居住環境、防災機能の向上等を図り、地域住民が交流拠点を中心とした『体験』と『創造』を気軽に享受でき、豊かな自然環境と文化芸術の薫り高い「にぎわい」と「魅力」ある安全で安心なまちづくりを推進する。</li> </ul>																						
計画の成果目標（定量的指標）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中心市街地活性化区域の歩行者・二輪車の通行量を 14,761人（H21年度末）から 16,000人（H26年度末）に増加</li> <li>・土地区画整理事業により消防活動困難度を100%（H21年度末）から50.5%（H26年度末）に改善</li> </ul>																						
定量的指標の定義及び算定式	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="3">定量的指標の現況値及び目標値</th> <th rowspan="2">備考</th> </tr> <tr> <th>当初現況値 (H21年度末)</th> <th>中間目標値</th> <th>最終目標値 (H26年度末)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>中心市街地活性化区域の歩行者・二輪車（自転車・バイク）の通行量を計測する。</td> <td>14,761人</td> <td>—</td> <td>16,000人</td> <td></td> </tr> <tr> <td>4m未満の狭隘道路の残存率を計測する。</td> <td>100%</td> <td>—</td> <td>50.5%</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>						定量的指標の現況値及び目標値			備考	当初現況値 (H21年度末)	中間目標値	最終目標値 (H26年度末)	中心市街地活性化区域の歩行者・二輪車（自転車・バイク）の通行量を計測する。	14,761人	—	16,000人		4m未満の狭隘道路の残存率を計測する。	100%	—	50.5%	
	定量的指標の現況値及び目標値			備考																			
	当初現況値 (H21年度末)	中間目標値	最終目標値 (H26年度末)																				
中心市街地活性化区域の歩行者・二輪車（自転車・バイク）の通行量を計測する。	14,761人	—	16,000人																				
4m未満の狭隘道路の残存率を計測する。	100%	—	50.5%																				
全体事業費	合計 (A+B+C)	8,873 百万円	A	6,393百万円 うち提案分 9百万円	B	693 百万円	C	1,787 百万円	効果促進事業費の割合 (A(提案事業分)+C) / (A+B+C)	20.2%													

事後評価

○事後評価の実施体制、実施時期等

事後評価の実施体制

事後評価の実施時期

平成28年2月中旬～3月中旬

公表の方法

前橋市ホームページに掲載、前橋市政策部政策推進課の窓口にて閲覧

前橋市地域再生計画及び前橋市社会資本総合整備計画評価委員会設置

1. 交付対象事業の進捗状況 (○:計画どおり実施できた △:計画したが、一部実施できなかった(次期計画等で完成予定) —:その他(備考欄に具体的に記入(中止、未実施等))

交付対象事業																
A 市街地整備事業																
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接/間接	事業者	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容	市町村名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	進捗状況	備考
									H22	H23	H24	H25	H26			
1-A-1	都再区画	一般	前橋市	直接	前橋市	土地区画整理事業(千代田町三丁目)	緊急防災空地整備事業 A=105㎡	前橋市						7	○	
1-A-2	都再区画	一般	前橋市	直接	前橋市	土地区画整理事業(千代田町三丁目)	都市再生土地区画整理事業 A=0.6ha	前橋市						35	○	
1-A-3	都市再生	一般	前橋市	直接	前橋市	前橋駅周辺地区都市再生整備計画事業	道路、地域生活基盤施設等 A=139.73ha	前橋市						1,283	○	別添1
1-A-4	都市再生	一般	前橋市	直接	前橋市	中心市街地東地区都市再生整備計画事業	公園、土地区画整理事業等 A=65.8ha	前橋市						2,424	○	別添2
1-A-5	都市再生	一般	前橋市	直接	前橋市	六供・松並木地区都市再生整備計画事業	公園、土地区画整理事業等 A=481.3ha	前橋市						1,947	○	別添3
1-A-6	都再区画	一般	前橋市	直接	前橋市	土地区画整理事業(文京町四丁目)	都市再生土地区画整理事業 A=16.0ha	前橋市						765		
1-A-7	都再区画	一般	前橋市	直接	前橋市	土地区画整理事業(二中地区[第一])	都市再生土地区画整理事業 A=13.2ha	前橋市						596	○	
1-A-8	防災	一般	前橋市	直接	前橋市	都市防災総合推進事業	屋外拡声子局 35局、防災備蓄倉庫建設工事	前橋市						101	○	
										合計			6,393			

B 関連社会資本整備事業																
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容	市町村名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	進捗状況	備考
									H22	H23	H24	H25	H26			
1-B-1	道路	一般	前橋市	直接	前橋市	(都) 駒形駅前通線(Ⅱ期)	道路改築 L=600m	前橋市						106	○	
1-B-2	道路	一般	前橋市	直接	前橋市	市道11-704号線	道路改築 L=630m	前橋市						71	○	
1-B-3	道路	一般	前橋市	直接	前橋市	市道11-715号線	道路改築 L=290m	前橋市						42	○	
1-B-4	道路	一般	前橋市	直接	前橋市	江田天川大島線(改築)	道路改築 L=500m	前橋市						150	○	
1-B-5	道路	一般	前橋市	直接	前橋市	江田天川大島線(新設)	道路新設 L=490m	前橋市						255	○	
1-B-6	道路	一般	前橋市	直接	前橋市	南部大橋線(交差点改良)	道路改築 L=90m(総延長L=250m)	前橋市						69	○	
合計													693			
番号	一体的に実施することにより期待される効果														備考	
1-B-1	市街地整備(1-A-3、1-A-5)と併せて道路改築を実施することで、鉄道駅周辺の回遊性の向上を図るとともに、安全で安心な移動空間の確保も期待できる。															
1-B-2	市街地整備(1-A-8)と併せて道路改築を実施することで、地域内の回遊性の向上を図るとともに、前橋市地域防災計画に位置付けられた避難所への安全で安心な移動空間の確保も期待できる。															
1-B-3	市街地整備(1-A-8)と併せて道路改築を実施することで、地域内の回遊性の向上を図るとともに、前橋市地域防災計画に位置付けられた避難所への安全で安心な移動空間の確保も期待できる。															
1-B-4	市街地整備(1-A-3、1-A-5)と併せて道路改築を実施することで、鉄道駅周辺の回遊性の向上を図るとともに、安全で安心な移動空間の確保も期待できる。															
1-B-5	市街地整備(1-A-3、1-A-5)と併せて道路改築を実施することで、鉄道駅周辺の回遊性の向上を図るとともに、安全で安心な移動空間の確保も期待できる。															
1-B-6	市街地整備(1-A-3、1-A-5)と併せて道路改築を実施することで、鉄道駅周辺の回遊性の向上を図るとともに、安全で安心な移動空間の確保も期待できる。															

C 効果促進事業																
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容	市町村名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	進捗状況	備考
									H22	H23	H24	H25	H26			
1-C-1	施設整備	一般	前橋市	直接	前橋市	文化芸術交流拠点整備	既存建物を活用したアートセンター整備	前橋市						1,536	○	
1-C-2	緑地等	一般	前橋市	直接	前橋市	広瀬川河畔緑地再整備事業	河畔緑地再整備 L=250m	前橋市						53	○	
1-C-3	施設整備	一般	前橋市	直接	前橋市	交流拠点機能の充実事業	交流拠点機能向上のための設備(バス)導入	前橋市						15	○	
1-C-4	施設整備	一般	前橋市	直接	前橋市	新前橋駅周辺整備	自由通路へのEV設置、駐輪場整備等	前橋市						47	○	
1-C-5	景観助成等	一般	前橋市	直接	前橋市	千代田町三丁目土地画整理事業景観形成助成	景観に配慮したまち並み形成	前橋市						3	—	
1-C-6	施設整備	一般	前橋市	直接	前橋市	旧大竹家レンガ蔵等耐震改修事業	既存建物耐震改修整備	前橋市						120	○	
1-C-7	緑地等	一般	前橋市	直接	前橋市	平和町ポケットパーク整備事業	ポケットパーク整備 A=0.07ha	前橋市						13	○	
合計													1,787			
番号	一体的に実施することにより期待される効果														備考	
1-C-1	市街地整備(1-A-1~1-A-4、1-A-7)と併せて文化芸術交流拠点を整備することで、気軽に『体験』と『創造』を享受でき、交流拠点を中心とした文化芸術の薫り高いにぎわいとまちの魅力創出が期待できる。															
1-C-2	市街地整備(1-A-1~1-A-4、1-A-7)と併せて河畔緑地を整備することで、環境を活かした地域の顔づくりや人々が集う魅力ある空間づくりを図るとともに、回遊性の向上とにぎわいの創出が期待できる。															
1-C-3	市街地整備(1-A-4)と併せて各種交流拠点や小中学校、自然体験学習拠点などを整備することで、交流拠点機能の充実を図るとともに、回遊性の向上とにぎわいの創出が期待できる。															
1-C-4	市街地整備(1-A-3、1-A-5)と併せてJR新前橋駅周辺を整備することで、安全で安心な移動空間を確保するとともに、鉄道駅周辺の回遊性の向上も期待できる。															
1-C-5	市街地整備(1-A-1~1-A-2)と併せて景観形成助成金を制度化することで、景観に配慮したまち並み形成の実現が期待できる。															
1-C-6	市街地整備(1-A-1~1-A-4、1-A-7)と併せて歴史的な建造物を整備し、美術、芸術、地域交流の拠点機能となるような場所を提供することで、中心市街地の活性化といぎわいの創出が期待できる。															
1-C-7	市街地整備(1-A-1~1-A-4、1-A-7)と併せて緑地を整備することで、人々が集う地域のコミュニティ空間の充実を図るとともに、居住環境の向上とにぎわいの創出が期待できる。															

その他関連する事業

計画等の名称 前橋市防災・安全整備計画(防災・安全)																
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容	市町村名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	進捗状況	備考
									H22	H23	H24	H25	H26			
1-A'-6	都再区画	一般	前橋市	直接	前橋市	土地区画整理事業(文京町四丁目)	都市再生土地区画整理事業 A=16.0ha	前橋市						705	○	防災安全移行
合計													705			

A'	705	B'	C'	効果促進事業費の割合		18.8%
百万円		百万円	百万円	$(A+(提案事業分)+C+C') / (A+A'+B+B'+C+C')$		

2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況					
I 定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況		【中心市街地活性化区域の歩行者・二輪車の通行量】 ・前橋駅前広場整備や広瀬川河畔緑地整備、文化芸術拠点整備（アーツ前橋）などの公共施設整備を一体的に進めた結果、中心市街地への来街機会の向上は図られたが、十分な整備効果が得られず、目標値を上回ることができなかった。			
		【消防活動困難度】 ・土地区画整理事業の進捗に伴い、狭隘道路が減少した。その結果、緊急車両が通行可能となる道路網が形成され、快適で安全な住環境整備が図られた。			
II 定量的指標の達成状況	指標①（中心市街地活性化区域の歩行者・二輪車(自転車・バイク)の通行量)	最終目標値	16,000人	目標値と実績値に差が出た要因	・目標値は、前橋市商店街通行量調査（休日の通行量）から算出したものであり、同計画の交付対象事業に合わせ当該目標値の達成を見込んだものである。休日の来街目的は、主に買い物であり、買い物客の減少などが一つの要因として挙げられる。
		最終実績値	13,481人		
	指標②（4m未満の狭隘道路の残存率）	最終目標値	50.5%	目標値と実績値に差が出た要因	・土地区画整理事業が予定していた以上に進捗が図られ、目標値を大きく上回る結果となった。
		最終実績値	41.0%		
III 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況 (必要に応じて記述)		<p>■ 交付対象事業による市街地における区画整理事業や前橋駅前北口広場、アーツ前橋などの整備効果の発現として、平成5年度より減少傾向を続けていた前橋駅乗車人員が平成24年度から増加に転じている。さらに、これら整備の副次的効果として中心商店街への新規出店が見られ、空き店舗数が減少傾向にある。</p> <p>【前橋駅乗車人員 H21：9,567人 ⇒ H26：10,035人】 【空き店舗数 H21：36店舗 ⇒ H26：25店舗】</p>			
3. 特記事項（今後の方針等）					
<p>■ 前橋駅周辺環境の整備が進み、利用者や地域住民の利便性向上についての効果は見られるが、今後より一層に前橋の顔にふさわしい地区の活性化、賑わい創出を推進していく必要がある。</p> <p>■ 中心市街地の賑わいと活力を持続させるため、回遊性の向上と歩いて暮らせるまちの形成に向け、都市機能の集積や歩行空間の整備を図る。</p> <p>■ 土地区画整理事業によりハード面において安全・安心な住環境の向上は図られたが、地域住民の防災に対する意識や災害対応力をさらに強化していく必要がある。</p> <p>■ 引き続き、未整備区間の道路事業や区画整理事業の早期完了を目指し、次期計画において事業を継続していく。</p>					
4. 事後評価原案の公表					
公表方法		意見の受付方法			
①市ホームページ、②市広報、③政策部政策推進課窓口		担当課への郵送、FAX、電子メール、直接持参			
公表期間・公表日		担当部署			
①平成28年2月1日～2月12日、②平成28年2月1日発刊、③平成28年2月1日～2月12日		政策部政策推進課（とりまとめ担当課）			
意見受付期間		住民の意見			
平成28年2月1日～2月12日		なし			
5. 評価委員会の審議					
委員構成		実施時期			
学識経験のある委員		第1回：平成28年2月29日、第2回：平成28年3月15日			
松井 淳（前橋工科大学工学部教授）		委員会の設置根拠			
石原 栄一（弁護士）		前橋市地域再生計画及び前橋市社会資本総合整備計画評価委員会設置要綱			
前原 節雄（前橋市農業協同組合代表組合長）		担当部署			
馬場 瑞枝（ギャラリーあーとかん取締役）		政策部政策推進課			
審議事項	① 要素事業の進捗状況	資料等から整備時期や整備状況が確認できることから、概ね計画どおり実施されている。			
	② 評価値の実現状況	中心市街地の通行量を指標として設定することは問題ないが、通行量調査の方法自体が適切であったかという疑問がある。効果発現を確認する根拠としては信頼性があるものを設定するよう工夫してほしい。一方で、消防活動困難度は目標値を上回る実績を得られており、指標の設定としても問題はないと評価できる。			
	③ 効果発現状況	区画整理事業等の進捗が図れたことで、市街地の狭隘道路が減少し、生活環境や利便性の向上が認められる。また、前橋駅乗車人数や中心市街地の空き店舗数に良い影響を及ぼしている可能性も認められ、評価内容については妥当であると判断できる。			
	④ 今後の方針	前橋駅周辺の取り組みとして「けやき並木フェスタ」というソフト事業があるが、中心市街地全体の活性化には至っていない。今後、ソフト事業をさらに充実させることも重要であるが、樹木の保全や景観を生かした周辺環境整備も必要である。			



(参考図面) 市街地整備

